

# 花 粉 症

佐藤耳鼻咽喉科医院

院長 佐藤良寛先生

2月下旬から4月下旬頃まで、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみを発症させる病気が、スギ花粉症です。日本に特に多く、かぜと比べるとくしゃみは連続性、鼻水は水様透明、鼻づまりは強く、目のかゆみは涙を伴い、それぞれ長期に及びます。

花粉症は花粉が原因で発症するアレルギー疾患です。鼻炎、結膜炎、咽喉頭炎、皮膚炎、ぜんそくなどを起こします。今回ここではスギ花粉症を中心に紹介します。

アレルギー性鼻炎は1年をとおしての鼻炎と季節性のある鼻炎に分けられます。前者はハウスダスト(特にダニ)が、後者はスギに代表される花粉がアレルギーの元になっています。

花粉症の花粉は、2月から5月にかけて、ハンノキ、スギ、ヒノキ、5月から8月にかけて、カモガヤ、オオアワガエリ、8月から10月にかけて、ブタクサ、カナムグラなど、ほぼ1年にわたってみられます。

花粉症の症状は、その花粉が飛散している間、約2ヵ月続きます。鼻炎では、放置をしておくと、鼻粘膜の過敏性が増し、ピークの時には薬が効きにくくなることがあります。そのため、早めに治療を受けることをお勧めします。

現在、花粉症を完治させる方法はありません。発症しにくくするように、症状をコントロールさせていくことが治療の目的となっています。その一つが「マスクや眼鏡をする」「なるべく外出をしない」「花粉を部屋に入れない」など生活の中で花粉を避けることです。

スギ花粉症は、直接命にかかわる病気ではありません。しかし、生活をかなり制限させる症状を起こします。できれば花粉が飛散する2週間以上前には、医療機関で受診してみてください。